

**1時間でわかる
臨床でしか使えない
脳卒中リハビリ**

知識と臨床を繋ぐ

脳外臨床大学校

運動麻痺＋痙性の立ち上がり③

実践編：支持基底面の作り方

①支持基底面とは？

②支持基底面と支持する下肢

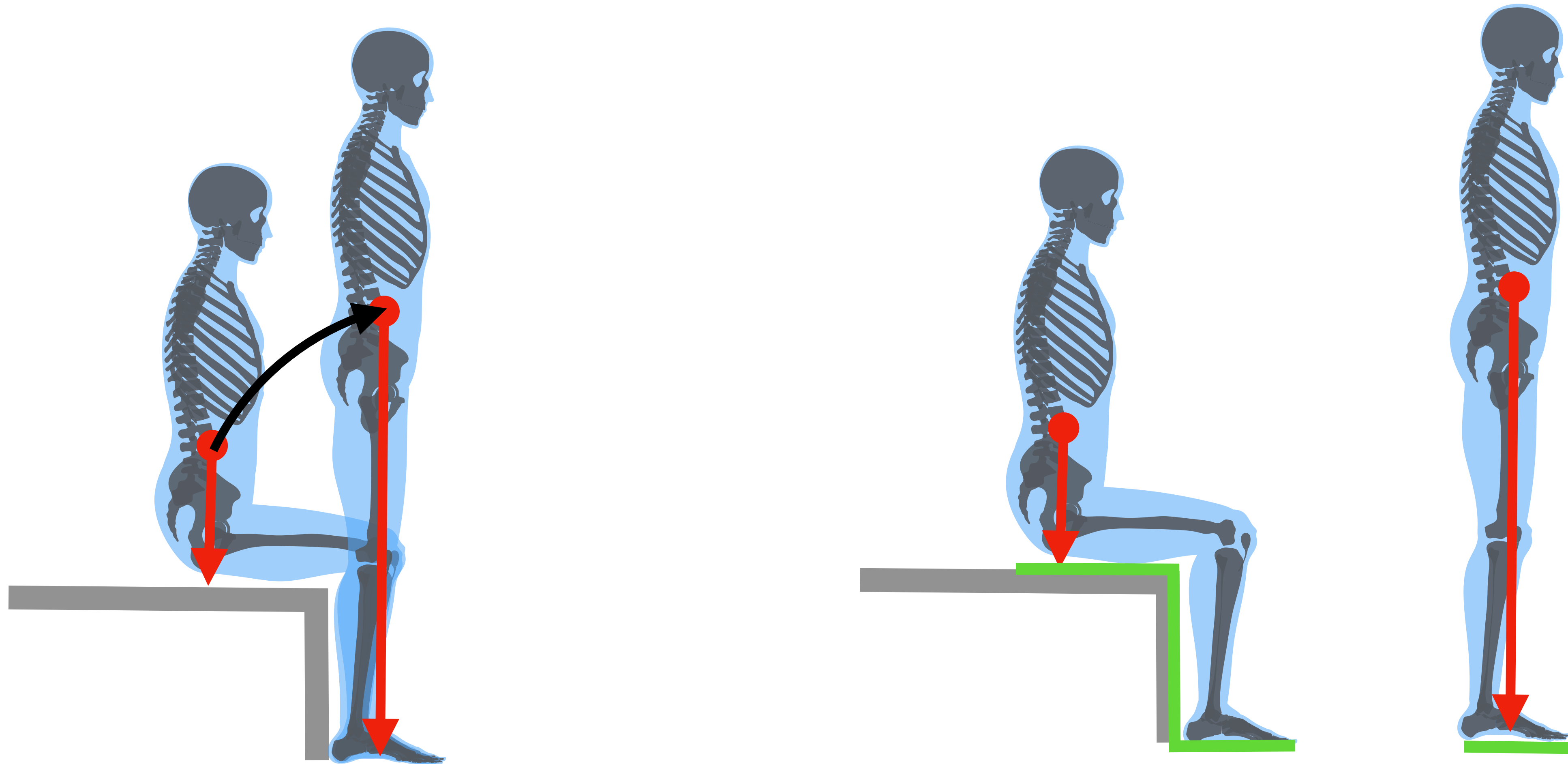
③立ち上がり評価

④実技

立ち上がりとは？

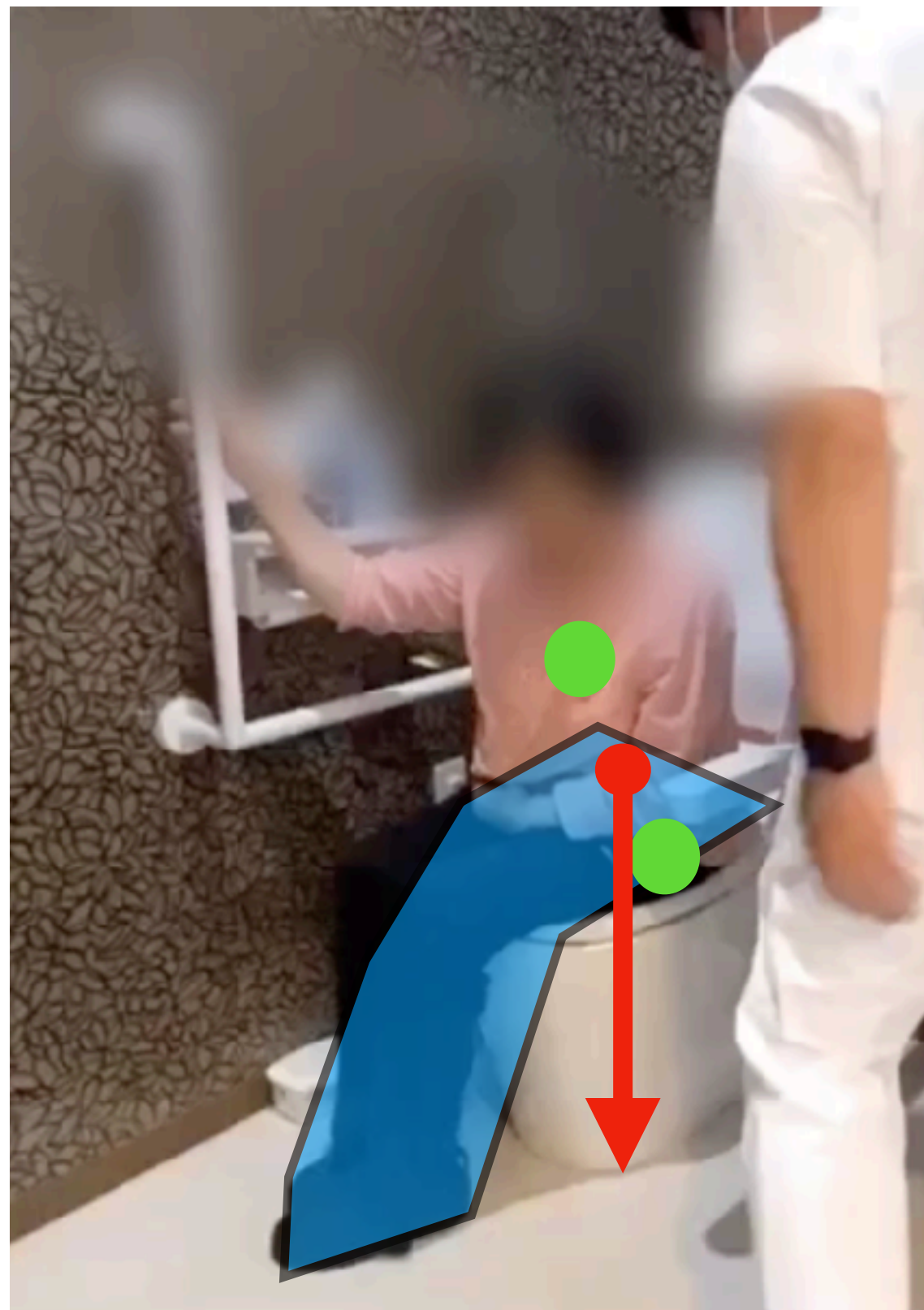
立ち上がりとは？

臀部にある重心を足底へと移動させ立位へと繋げる行為

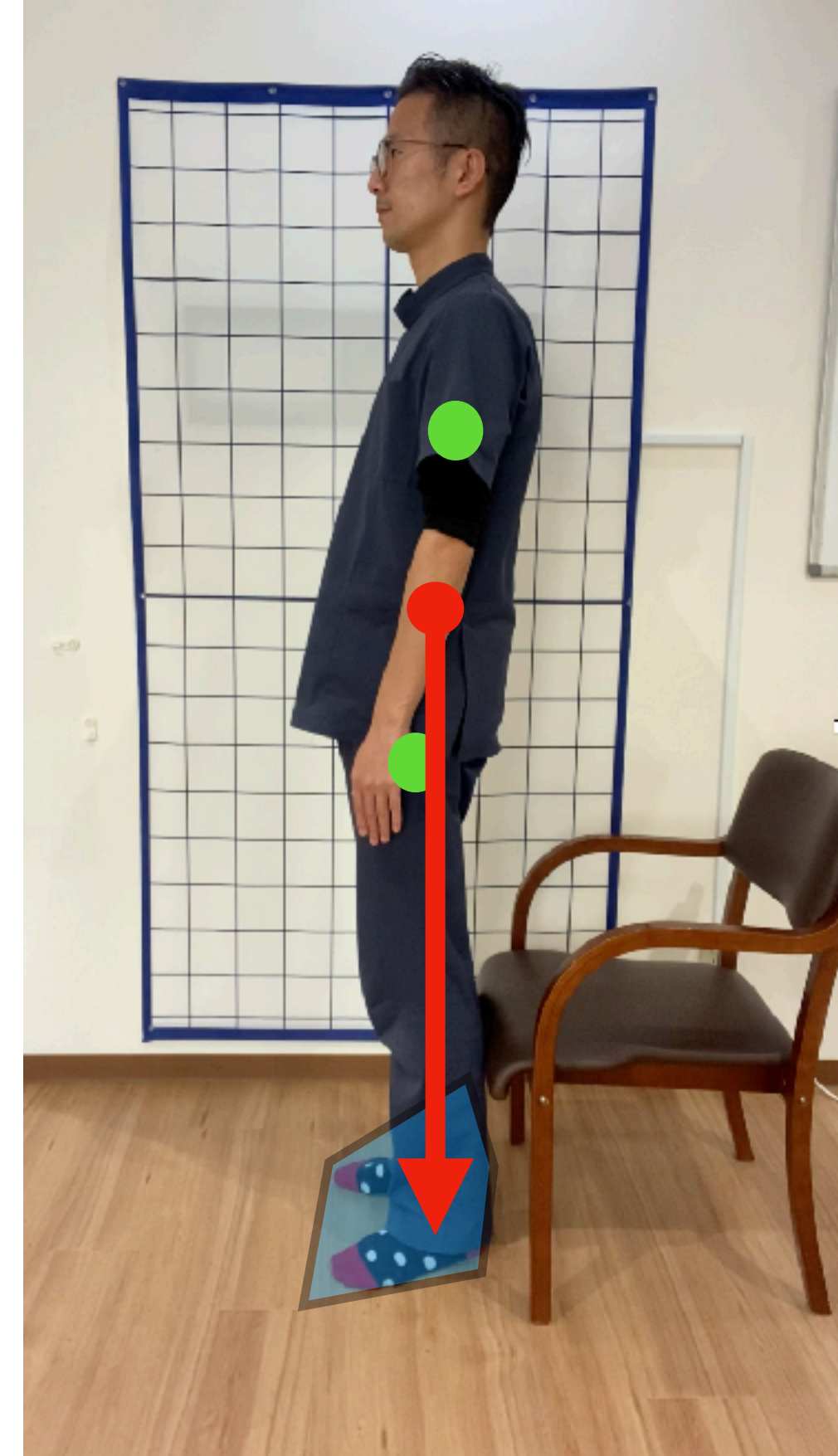
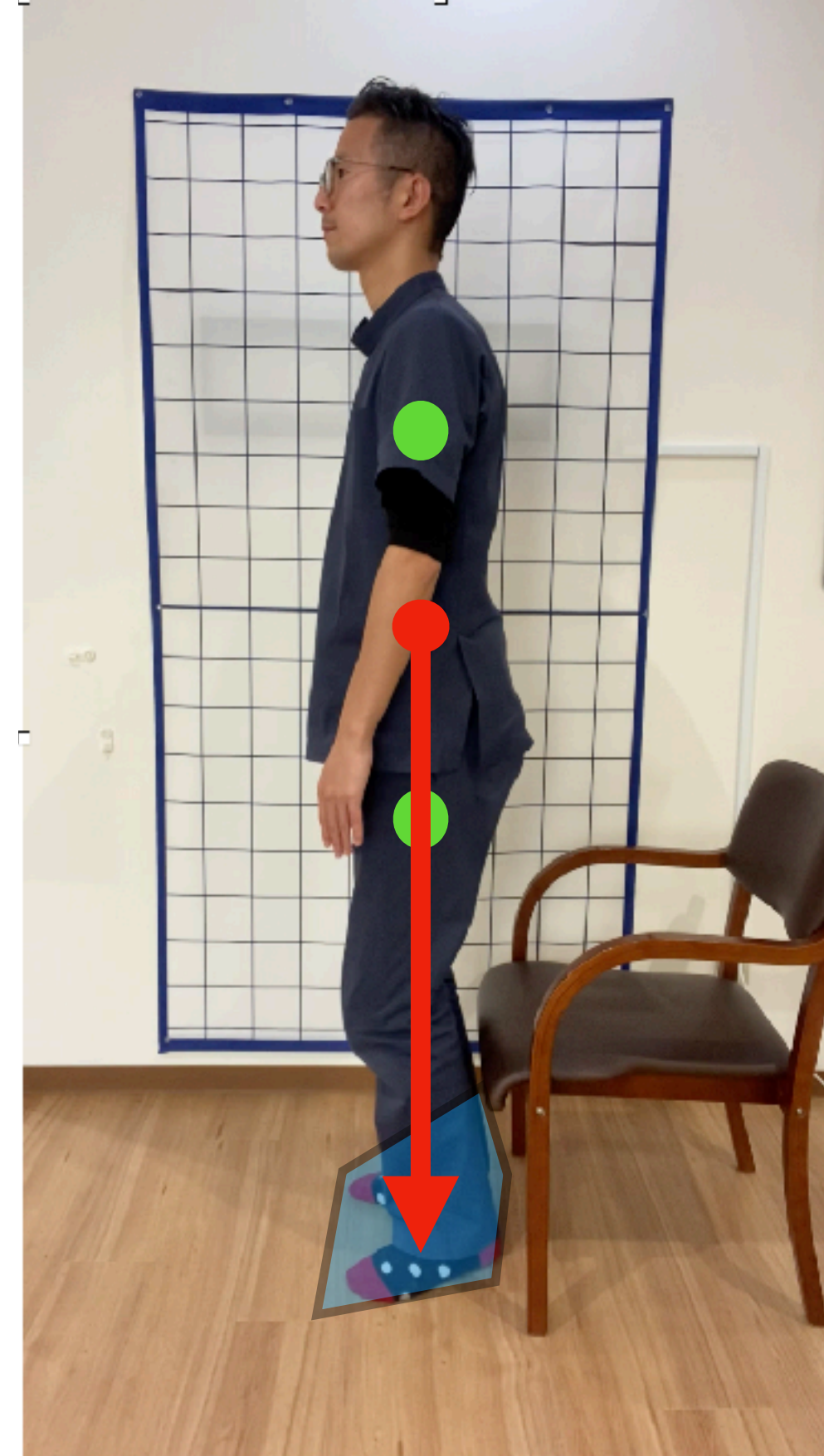
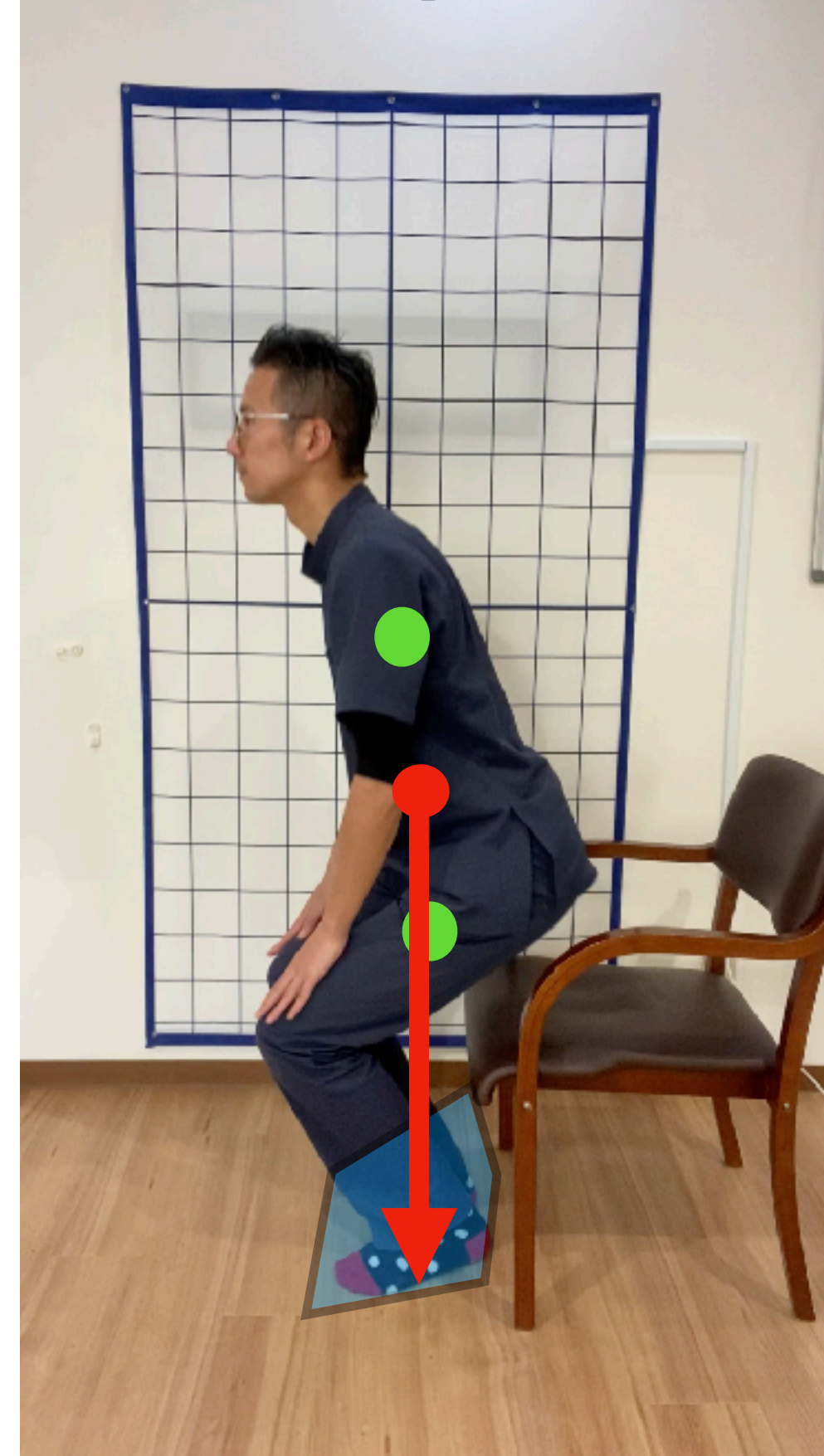
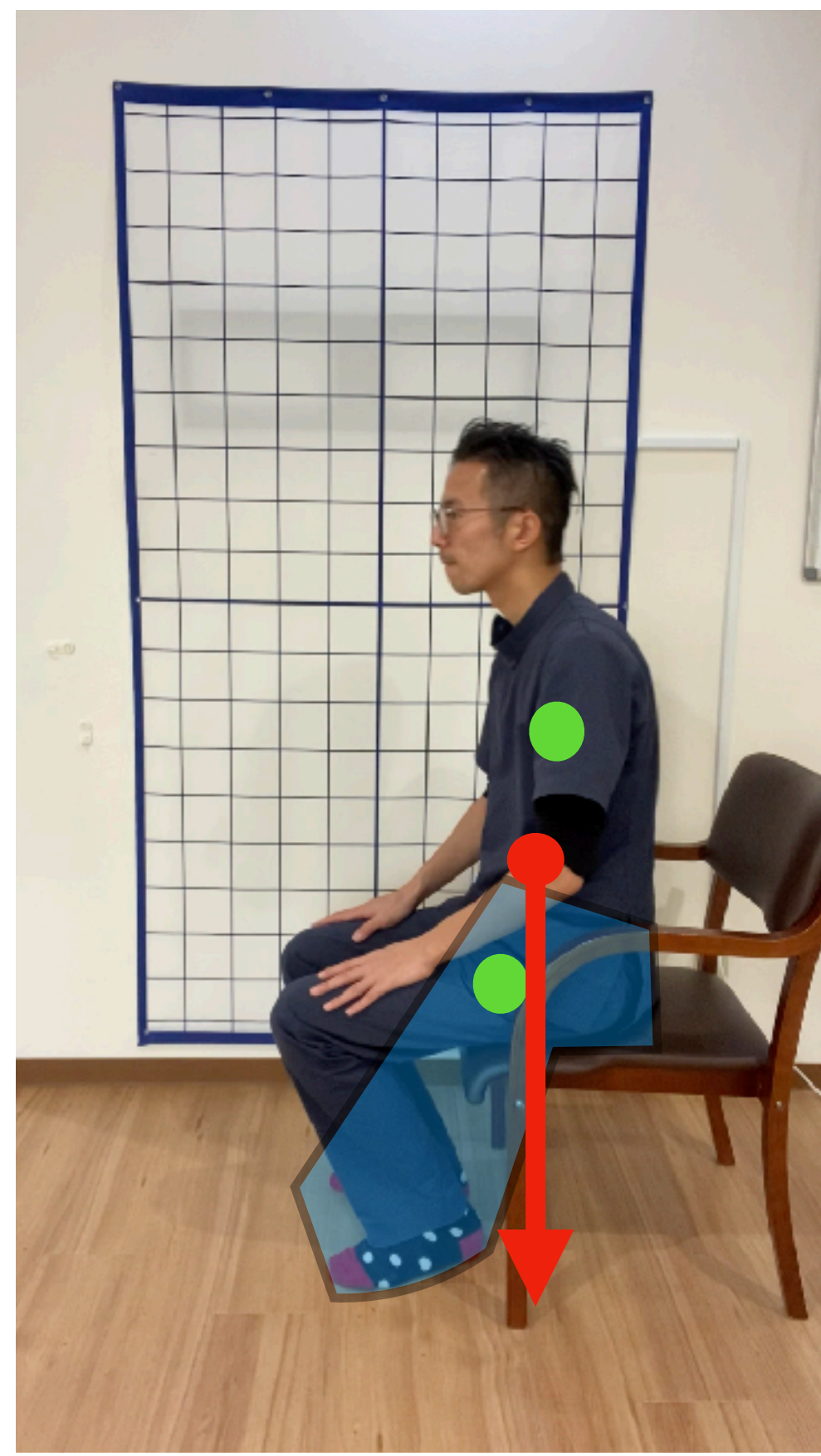
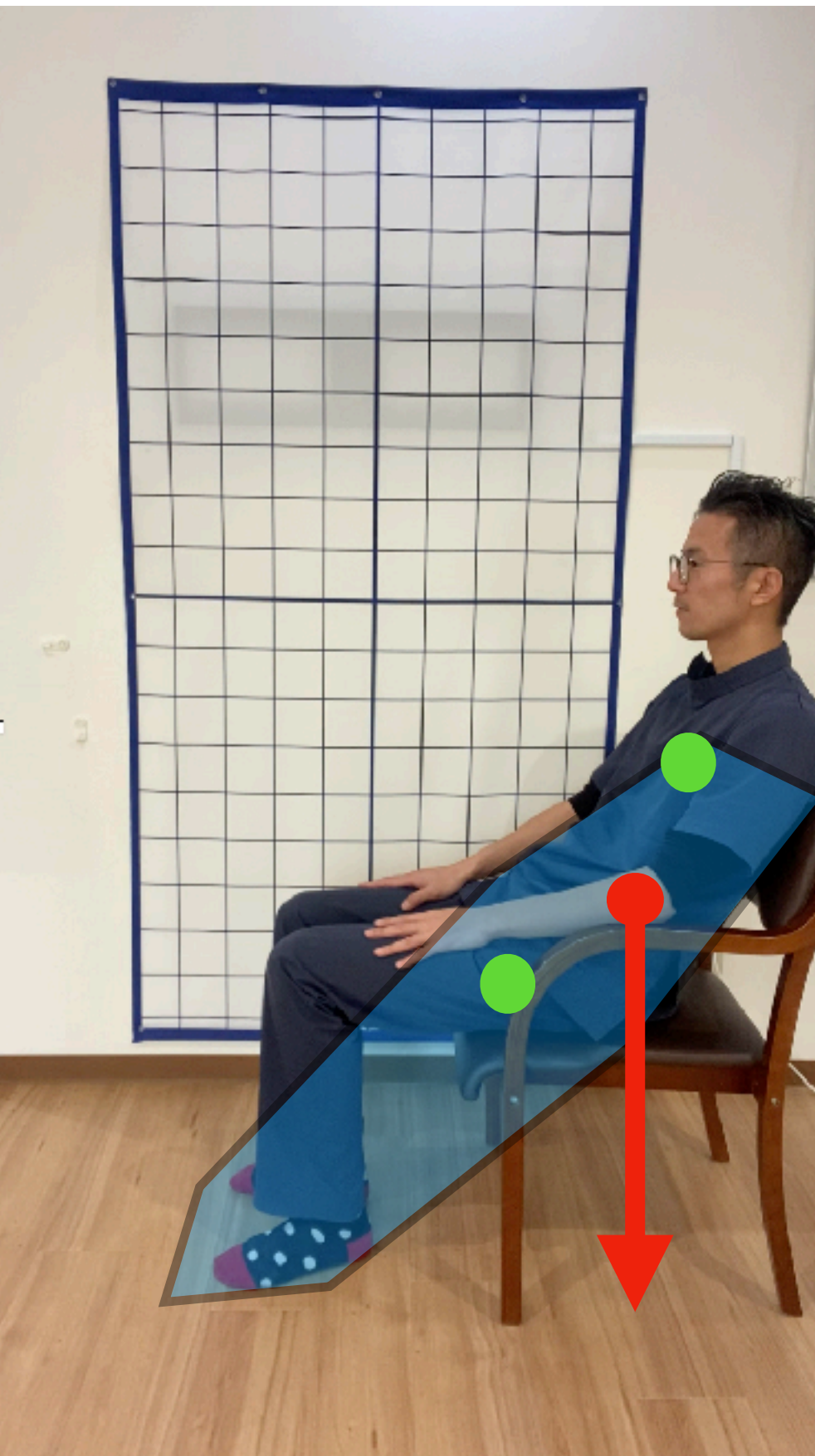


立ち上がりに必要な動きとは？

立ち上がり評価



正常運動を見てみよう



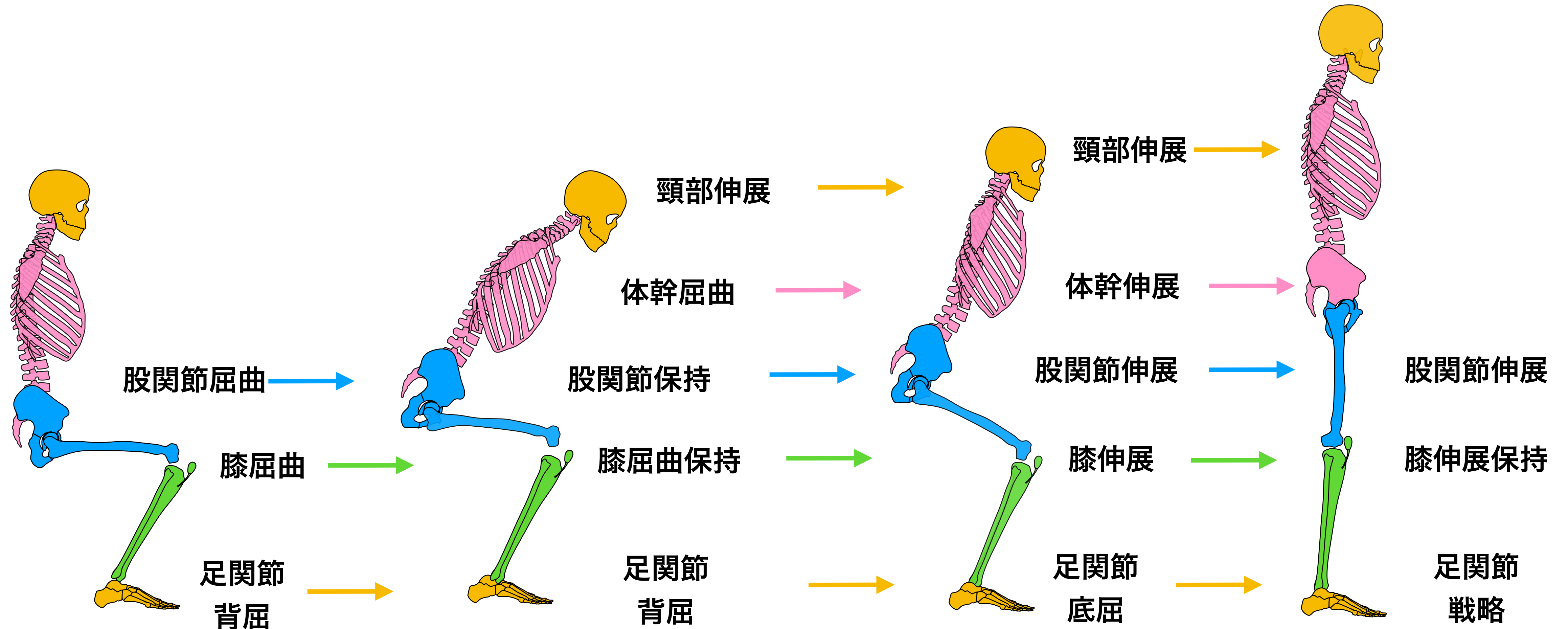
立ち上がりに必要な動きとは？

座位～屈曲相

臀部離床

伸展相

立位



支持基底面

支持 = 支える
基 = 基礎となる
底 = 身体の底の
面 = 面



支持基底面は何のために必要？

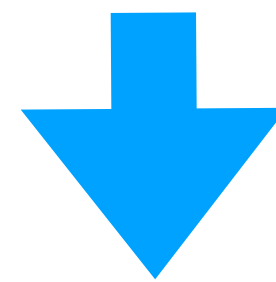
＜このために支持基底面が必要＞

『ヒトがある環境における運動遂行のために、感覚を処理し、重心を一定あるいは移動する支持基底面に維持するために適切に処理を行うこと』である。

支持基底面は何のために必要？

＜このために支持基底面が必要＞

『ヒトがある環境における運動遂行のために、感覚を処理し、重心を一定あるいは移動する支持基底面に維持するために適切に処理を行うこと』である。



これを何と言いますか？

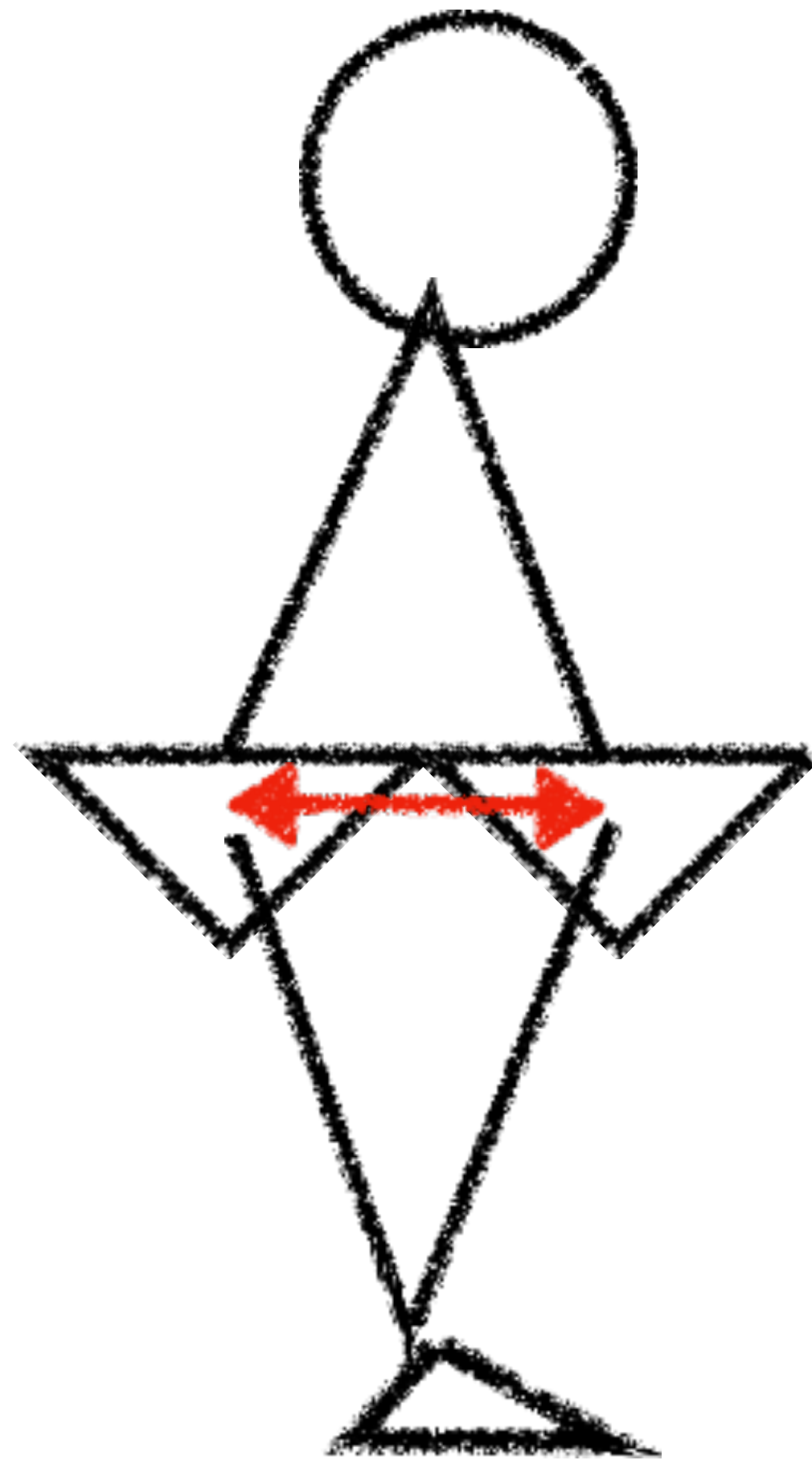
バランスを保つために必要働きとは？

外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略

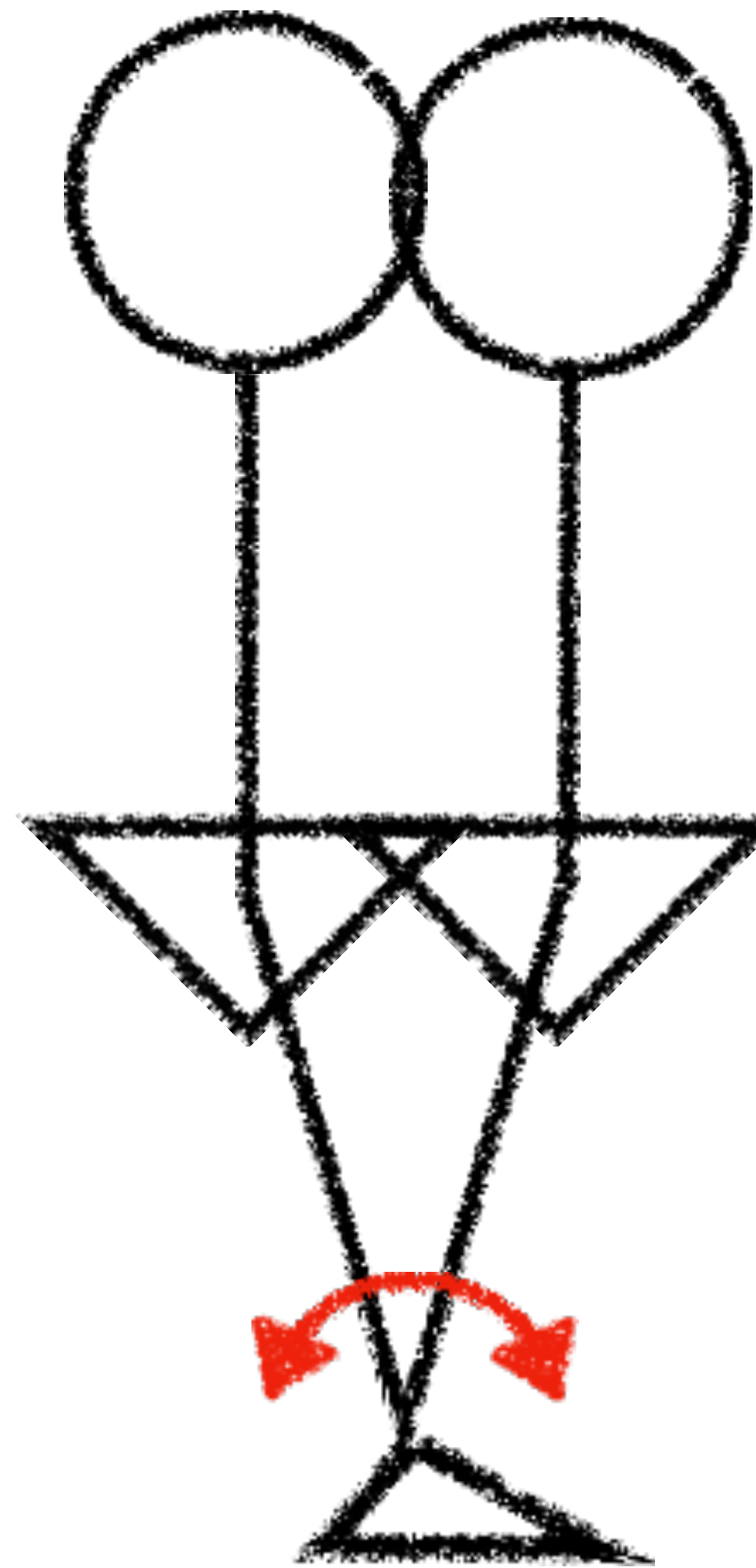


姿勢戦略

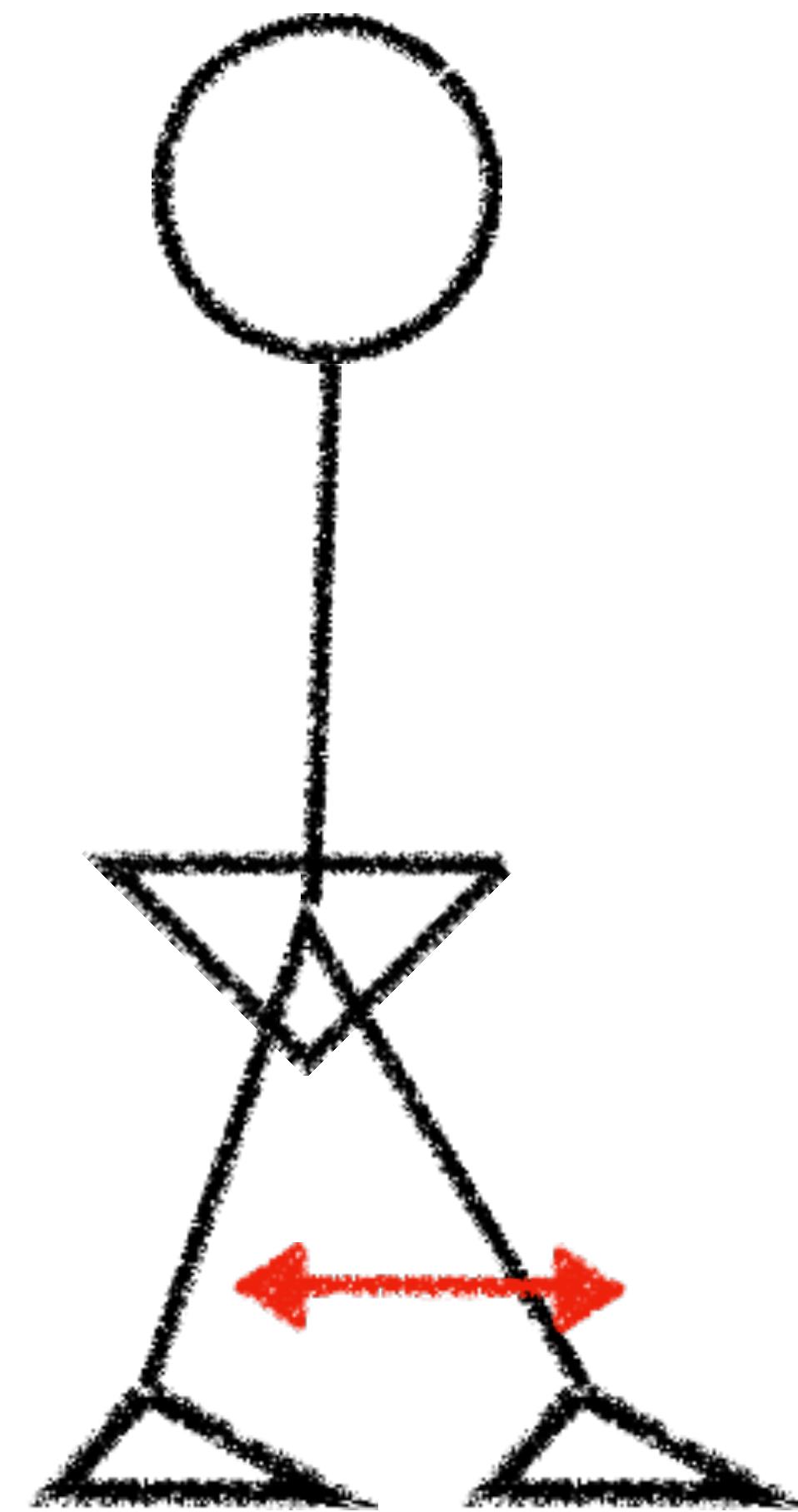
バランスを保つために必要働きとは？



ankle strategy



hip strategy



stepping strategy

バランスを保つために必要働きとは？

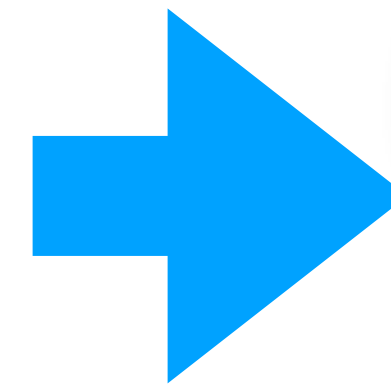
外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略



立ち直り反応

緊張性反射

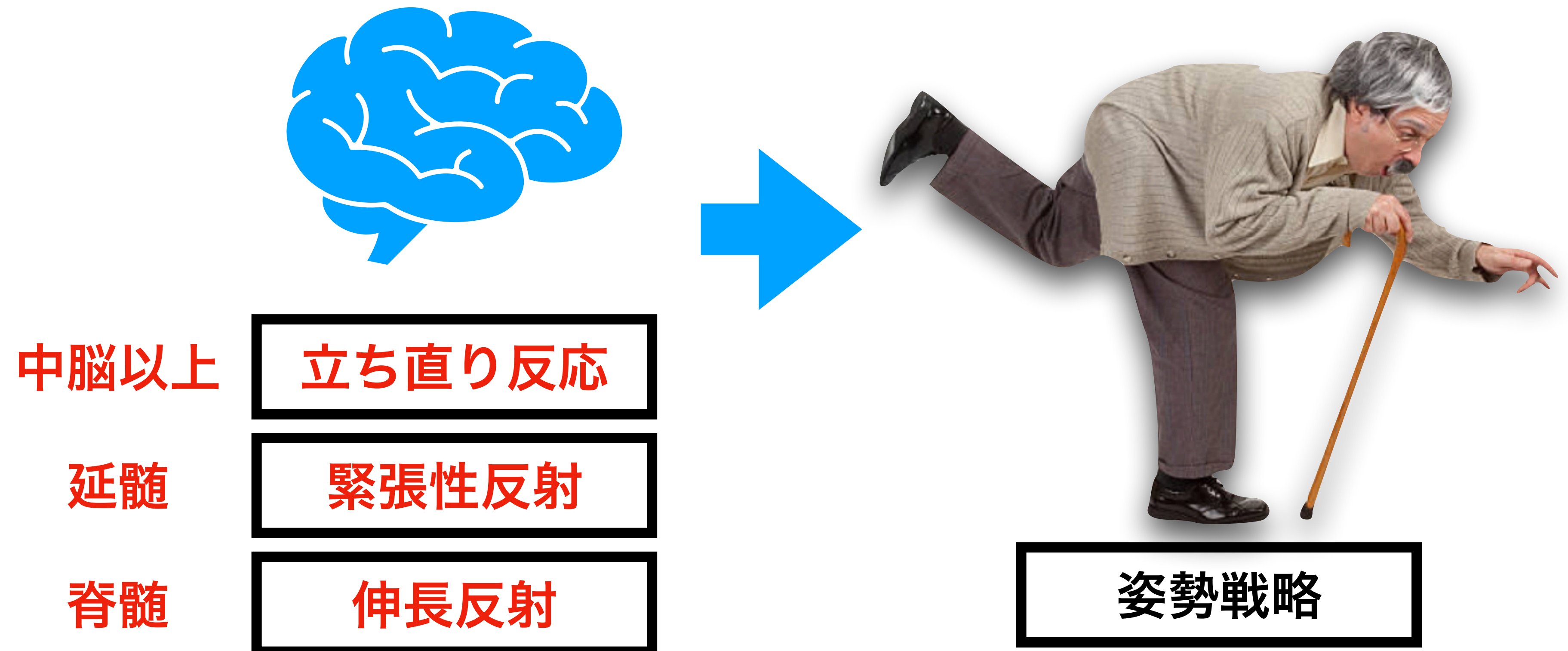
伸長反射



姿勢戦略

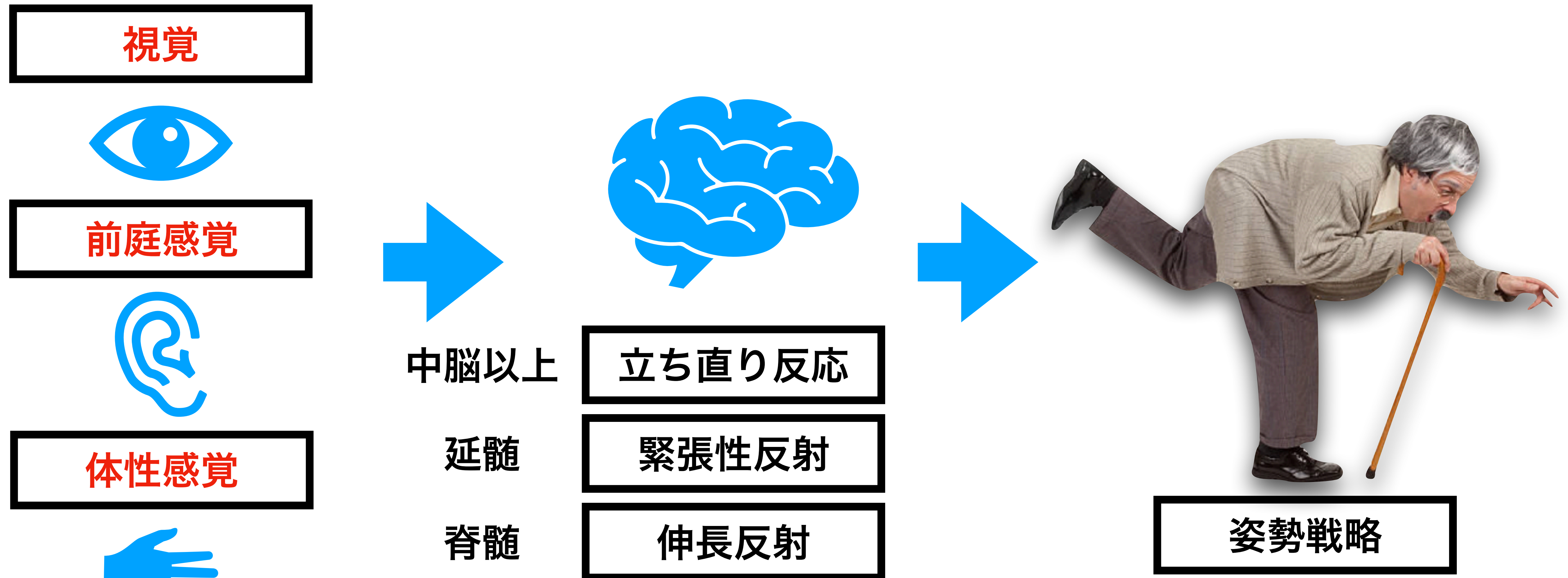
バランスを保つために必要働きとは？

外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略



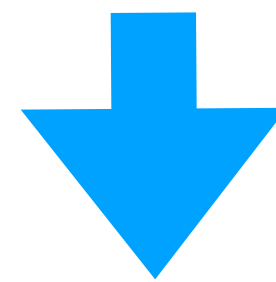
バランスを保つために必要働きとは？

外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略



支持基底面のゴール（目的）は？

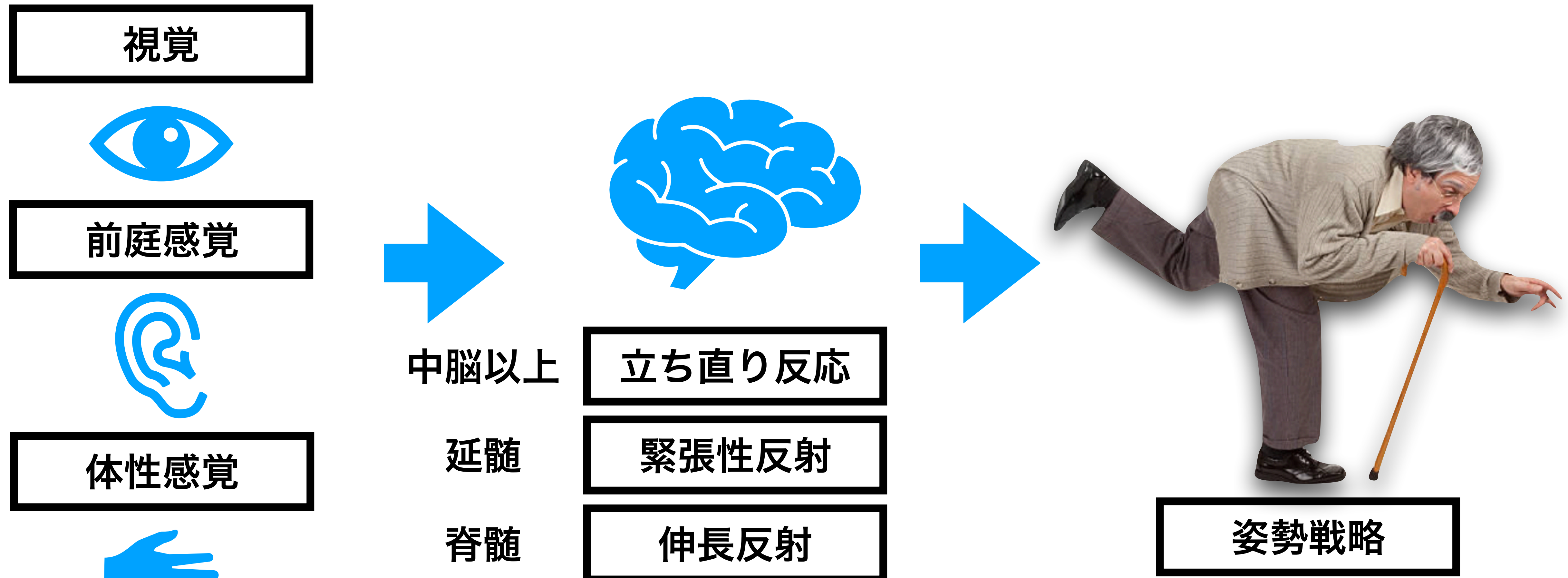
『ヒトがある環境における運動遂行のために、感覚を処理し、重心を一定あるいは移動する支持基底面に維持するために適切に処理を行うこと』である。



バランスを保つため

支持基底面のゴール（目的）は？

外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略→これを可能にする基底面



支持基底面のゴール（目的）は？

外れた重心を元の位置に戻そうとする戦略→これを可能にする基底面

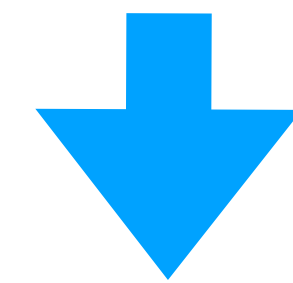


アプローチ→重心を支持できる面の構築



アプローチ

支持基底面を作るために



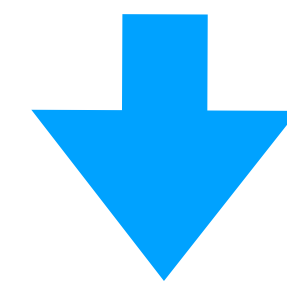
- 麻痺側の足を引く
- 両足を揃える



アプローチのイメージ

<ジェンガ>

倒さずに上に積み木を
積み重ねていくゲーム。



**重力に耐えられる
安定した基礎が必要**

③



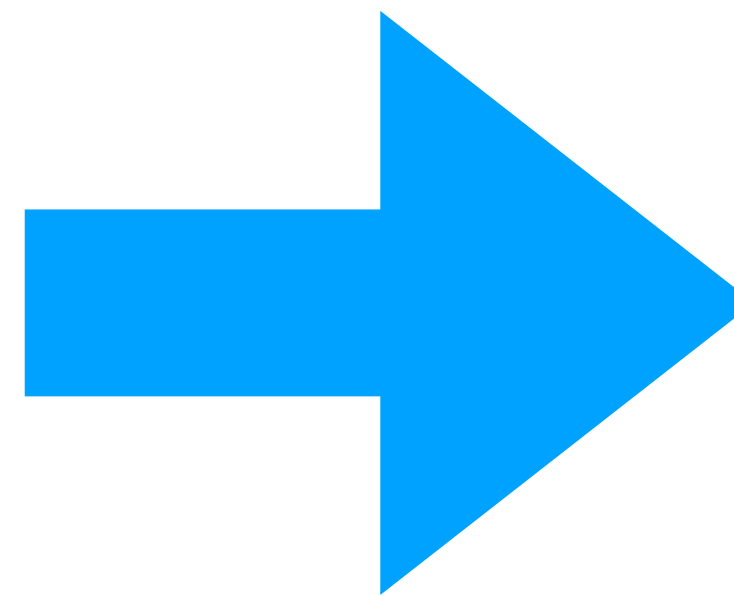
②



①

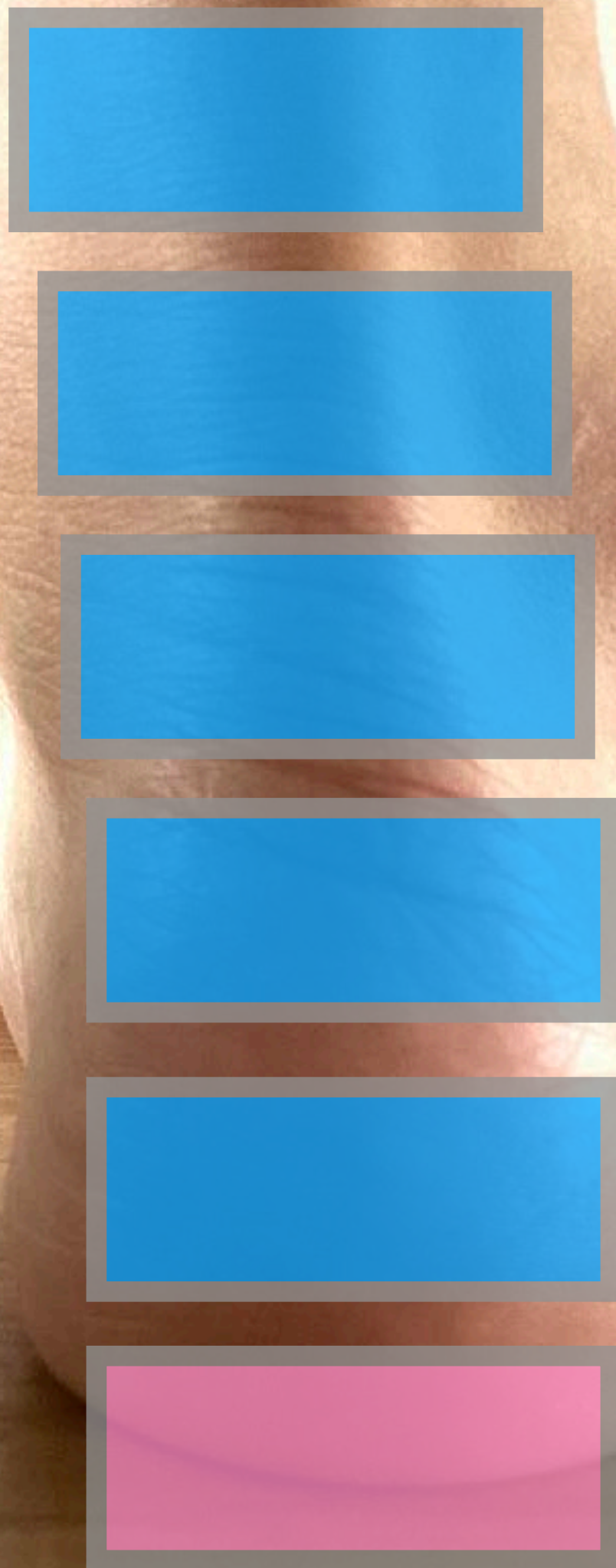


どこから
アプローチする

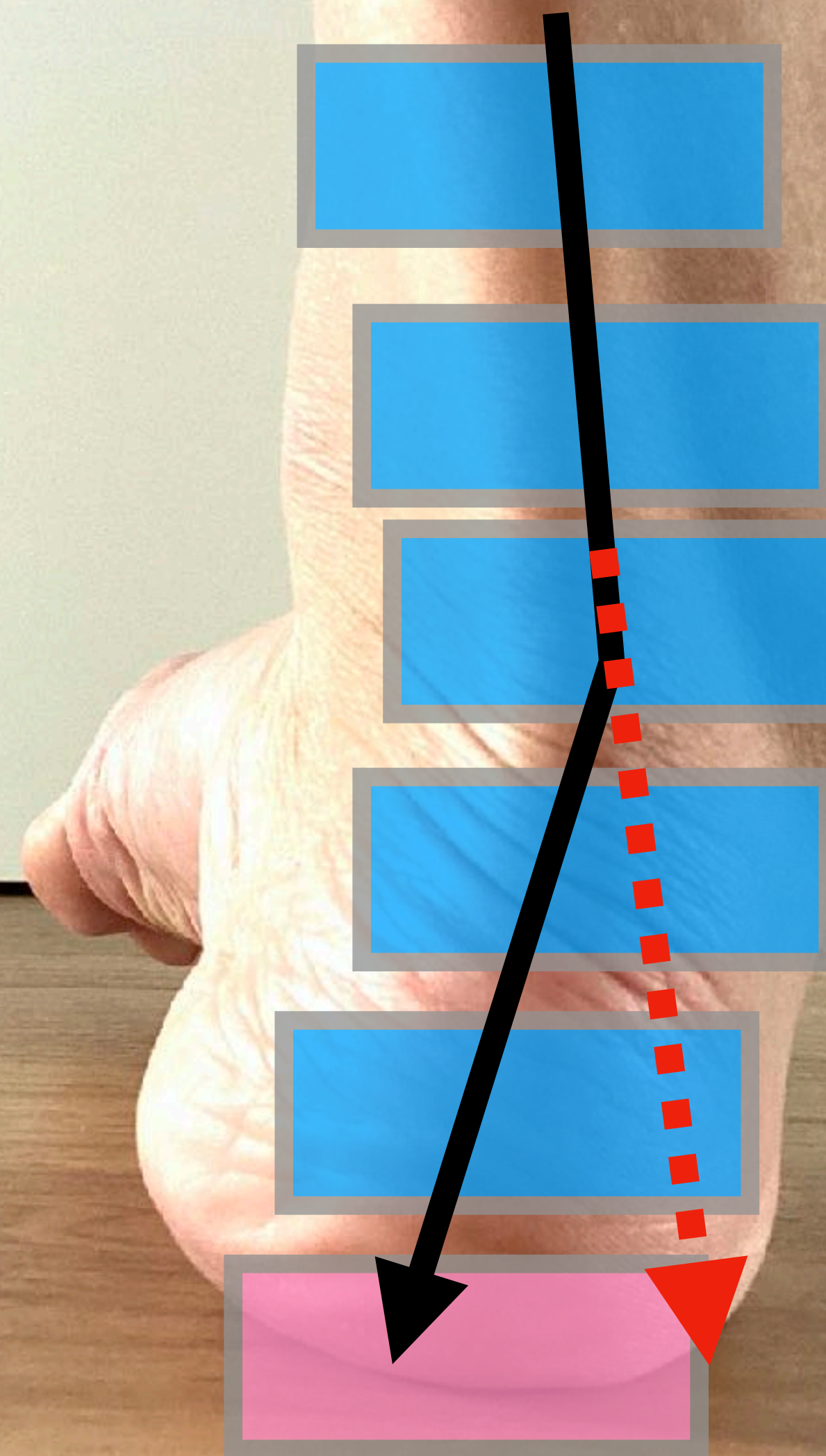
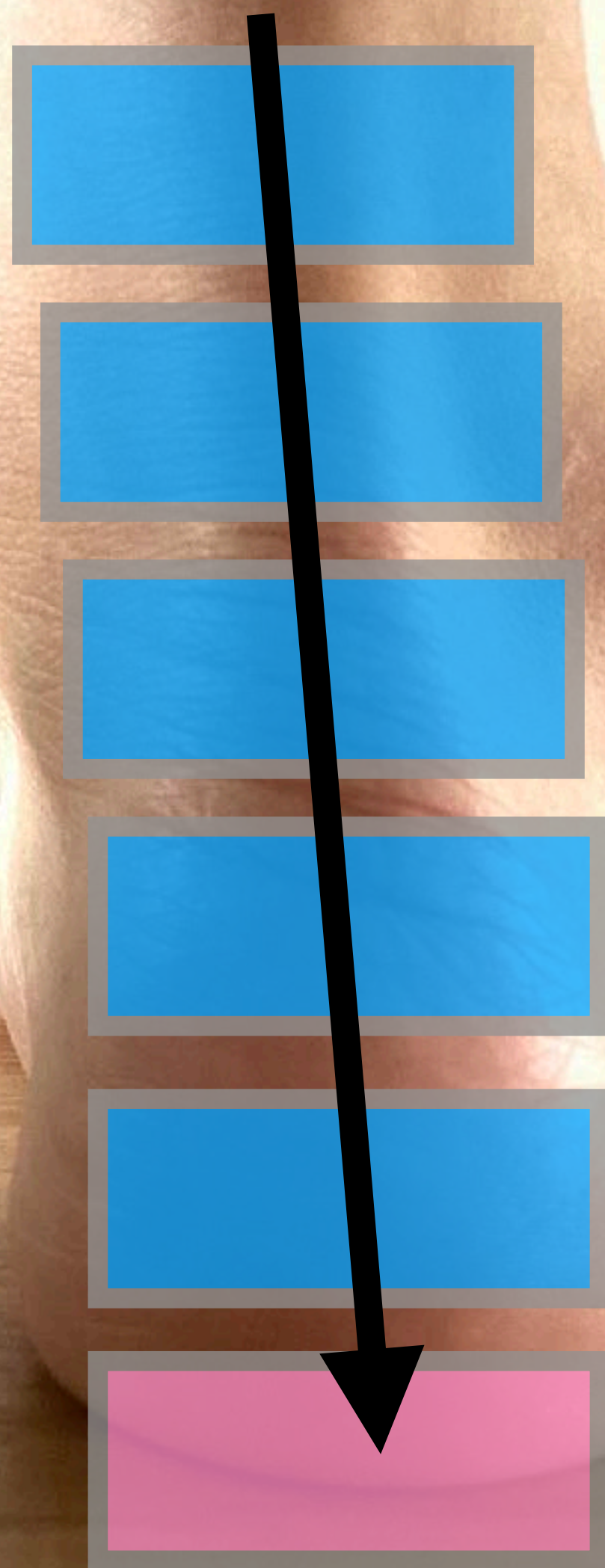




支持基底面としての足底

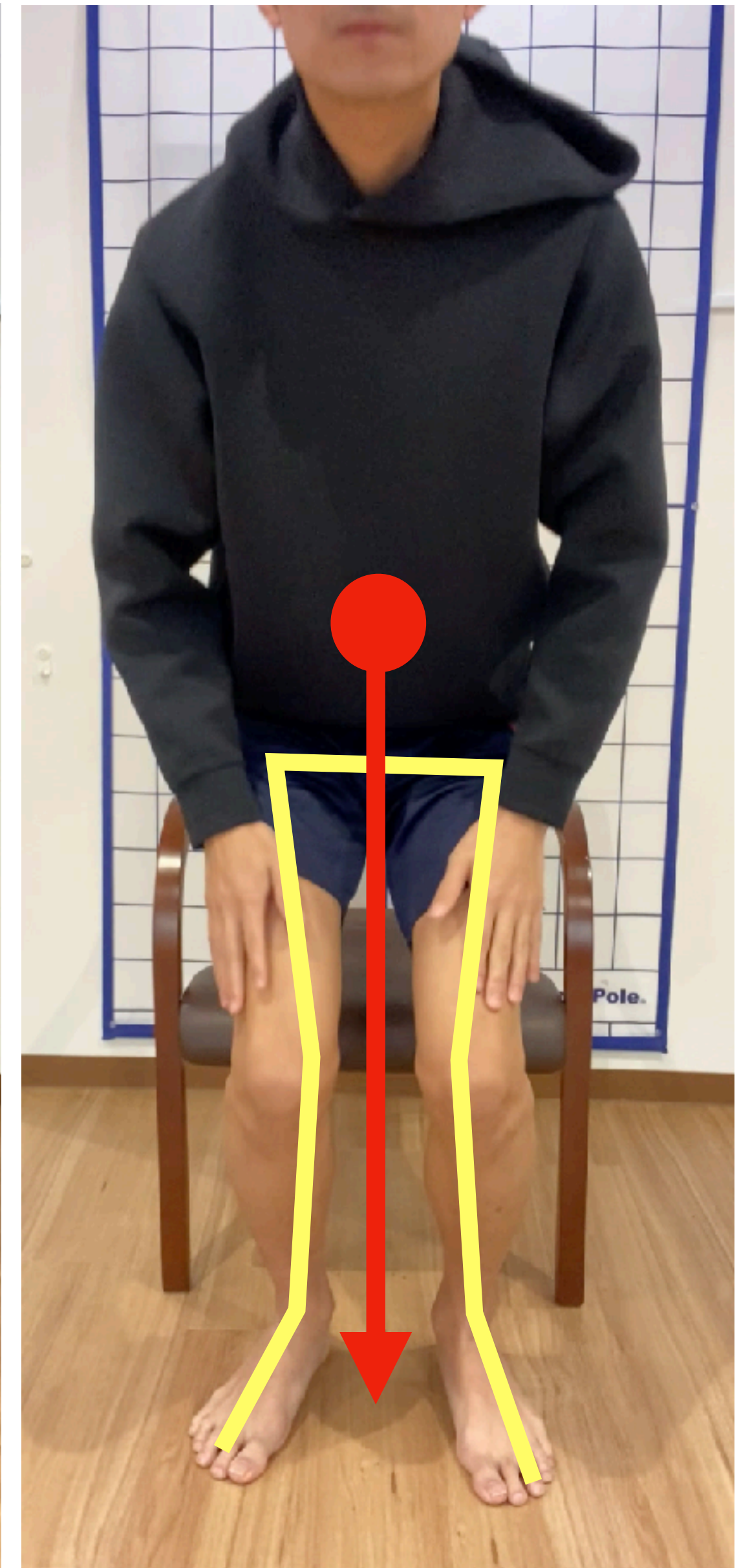
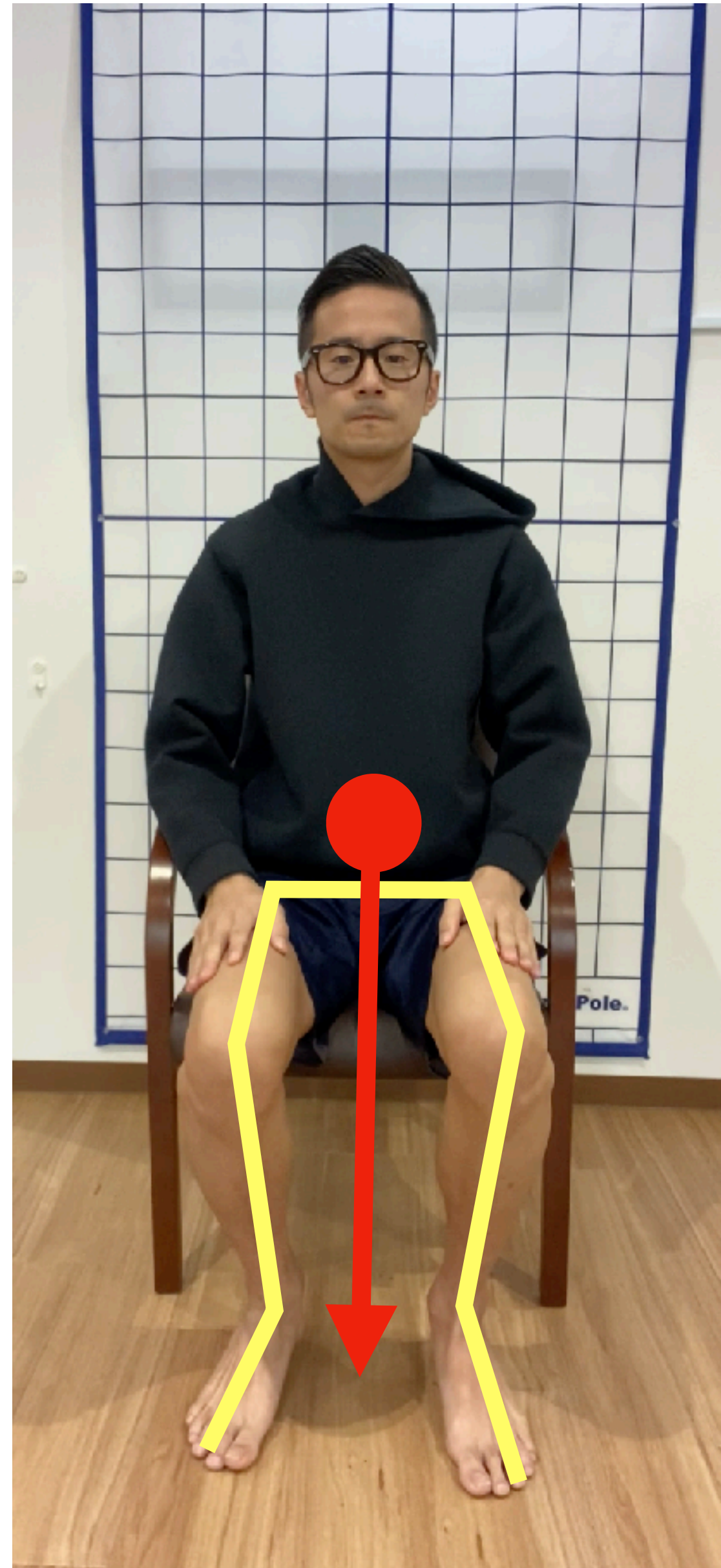


支持基底面としての足底

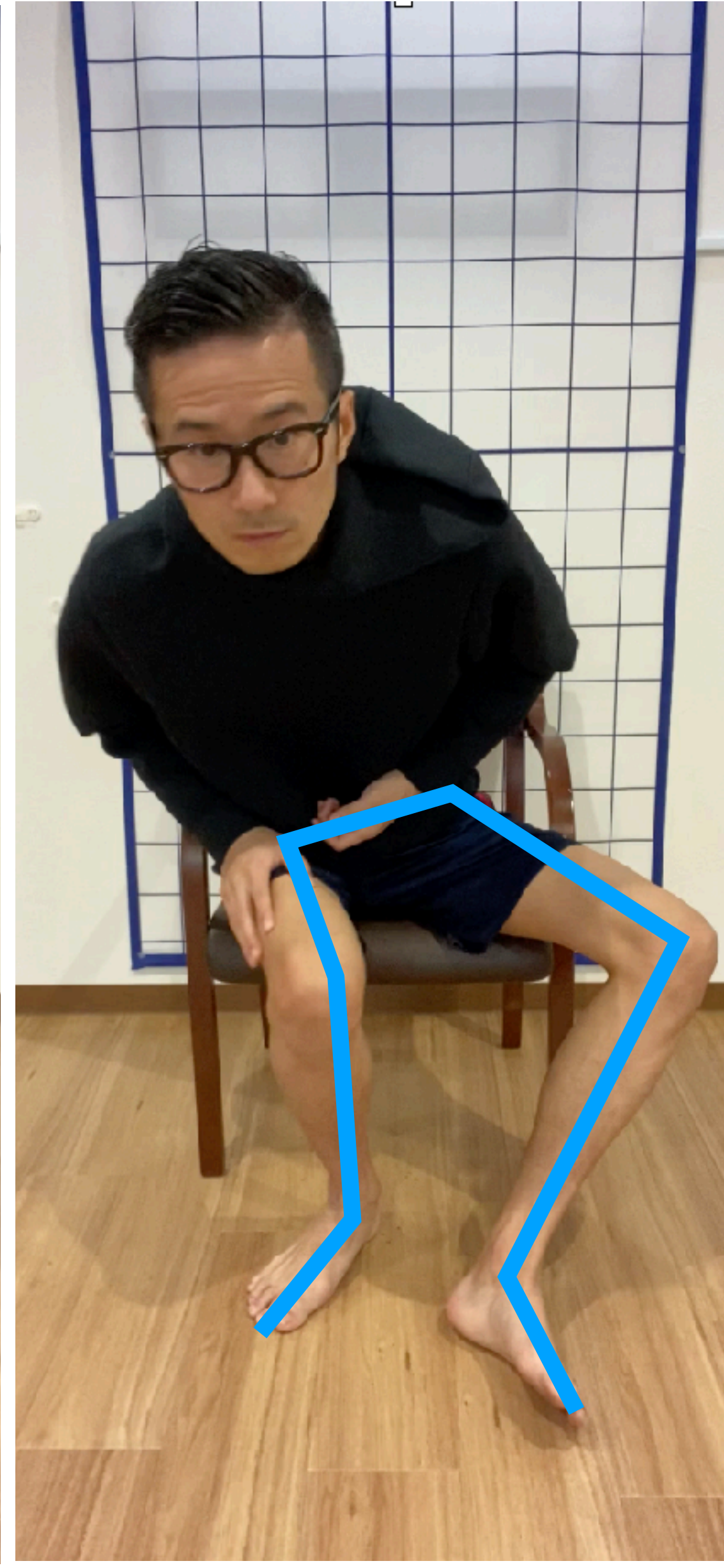


荷重した際に
重心を支持面に
入れる事が
不可能

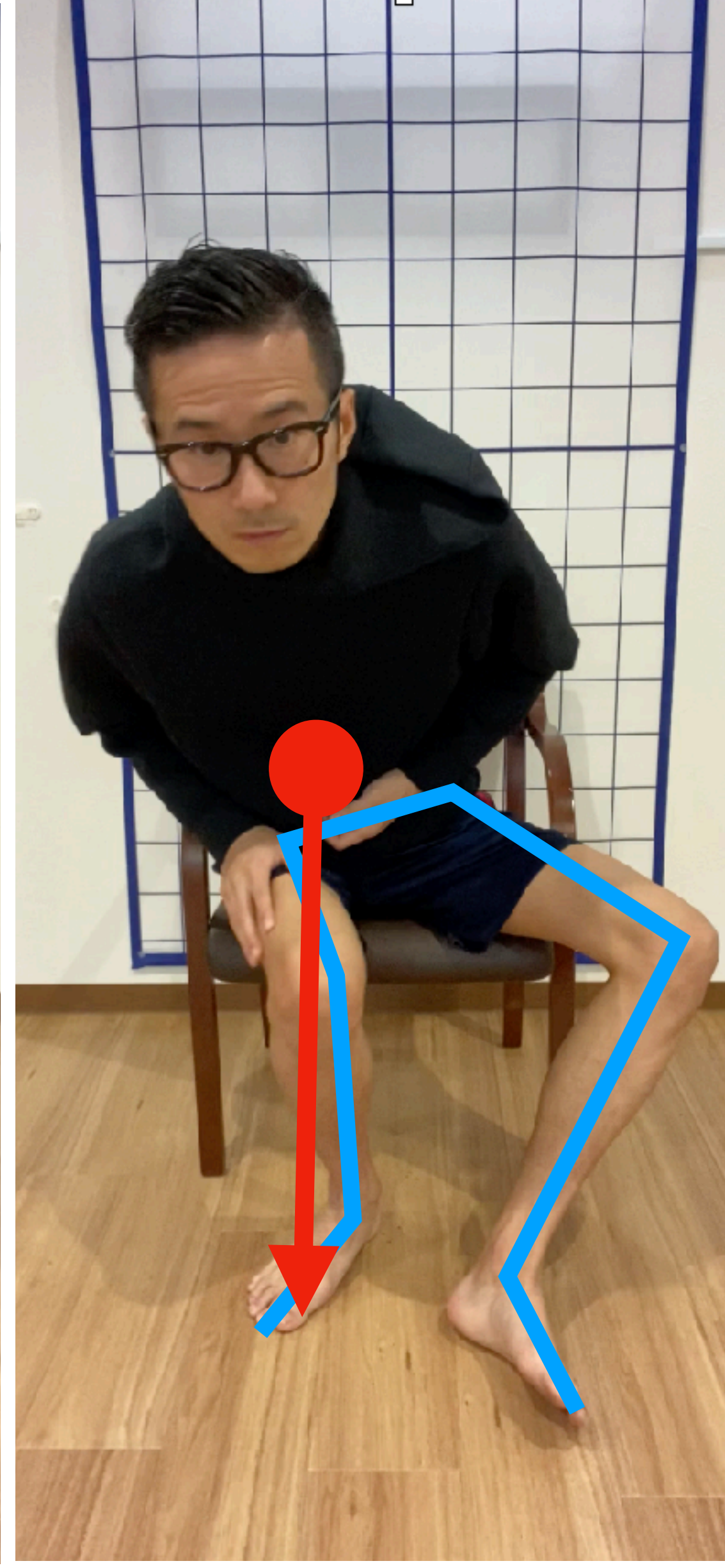
立ち上がり と 支持面



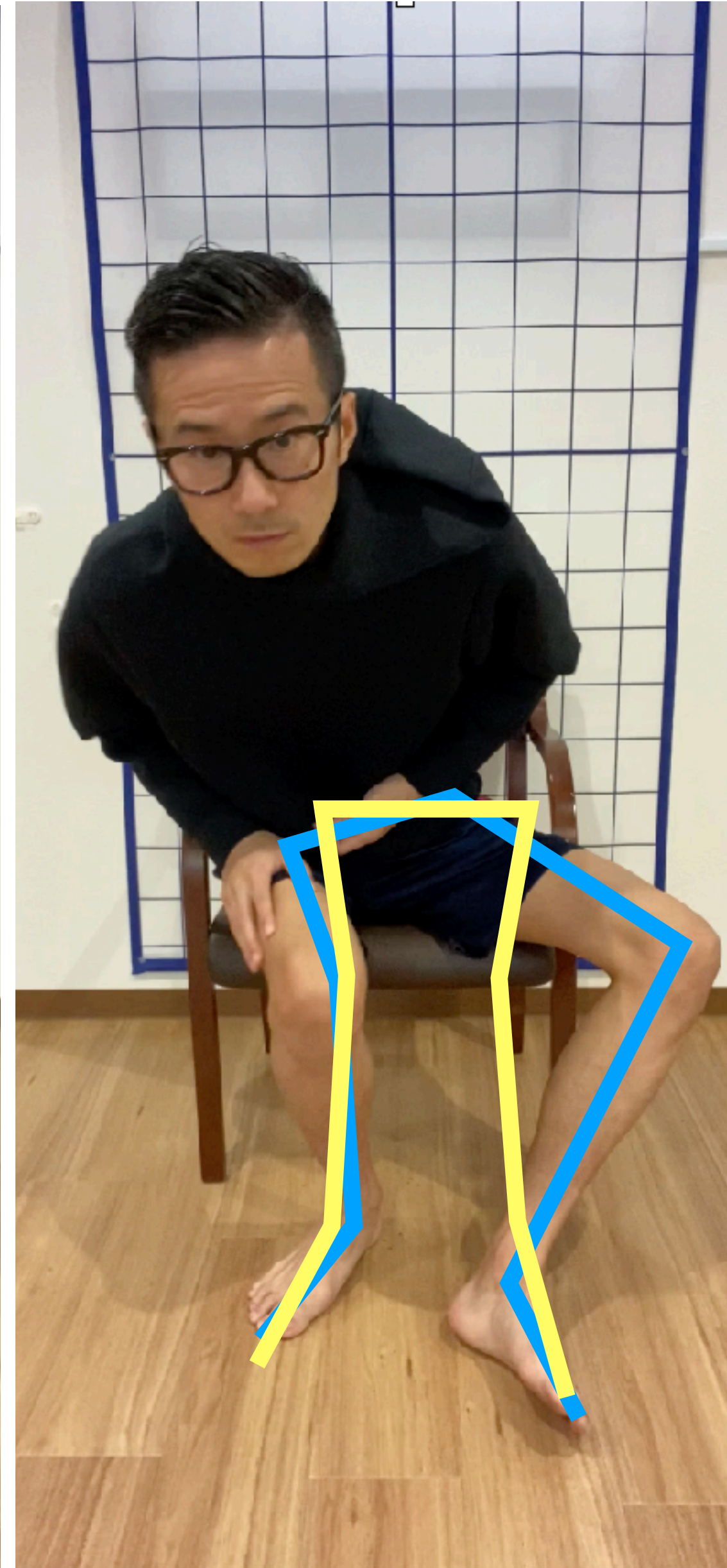
立ち上がり と 支持面

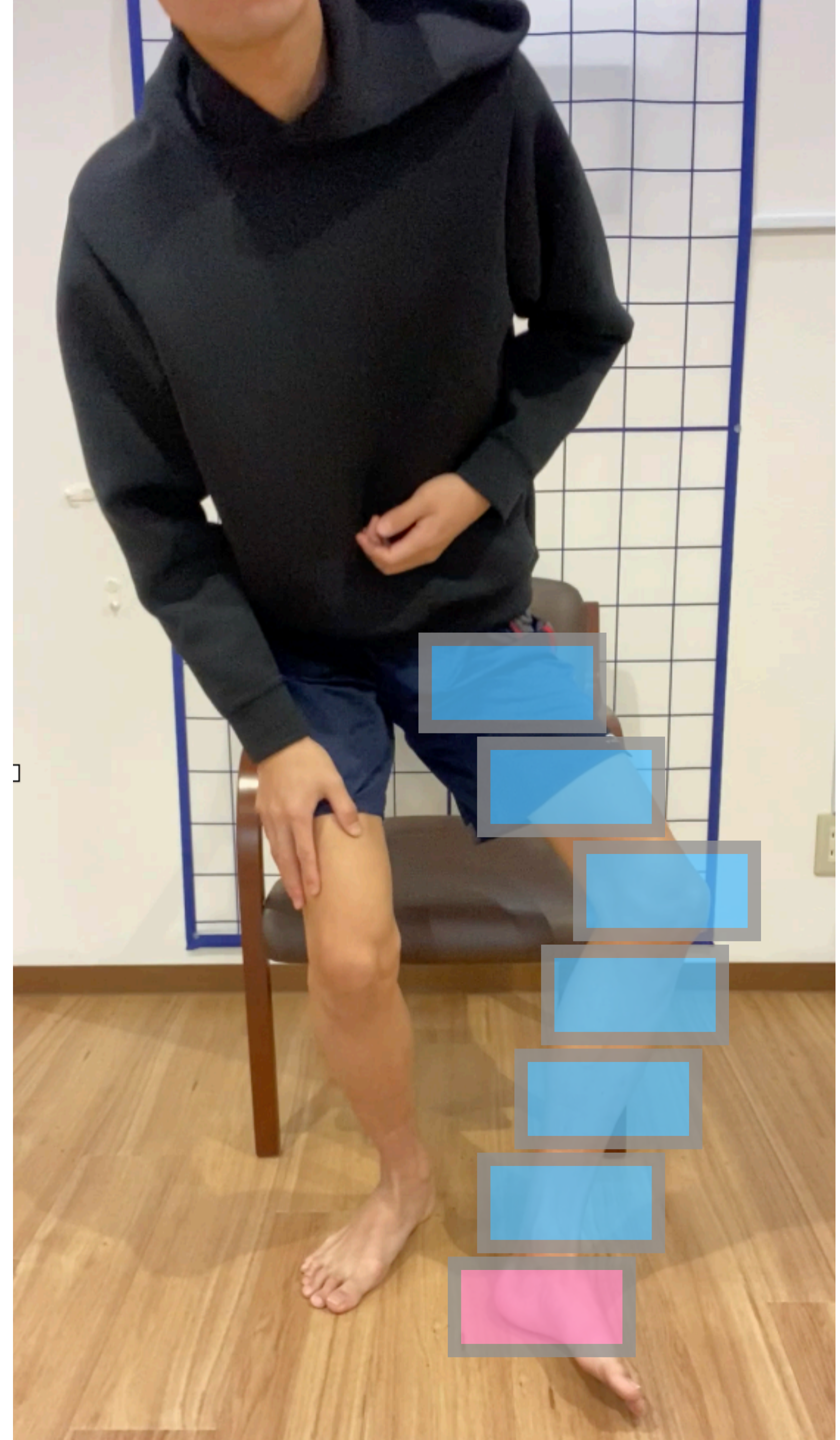


立ち上がり と 支持面

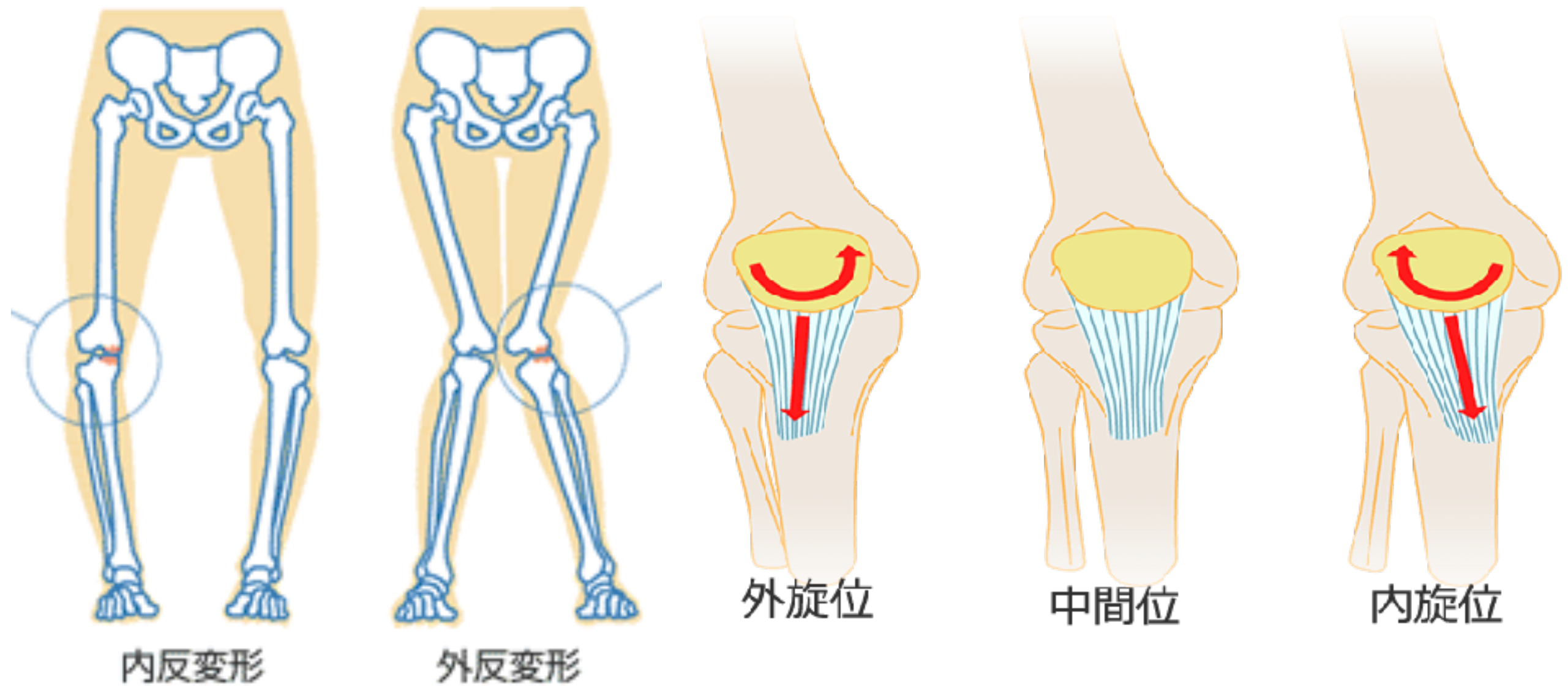
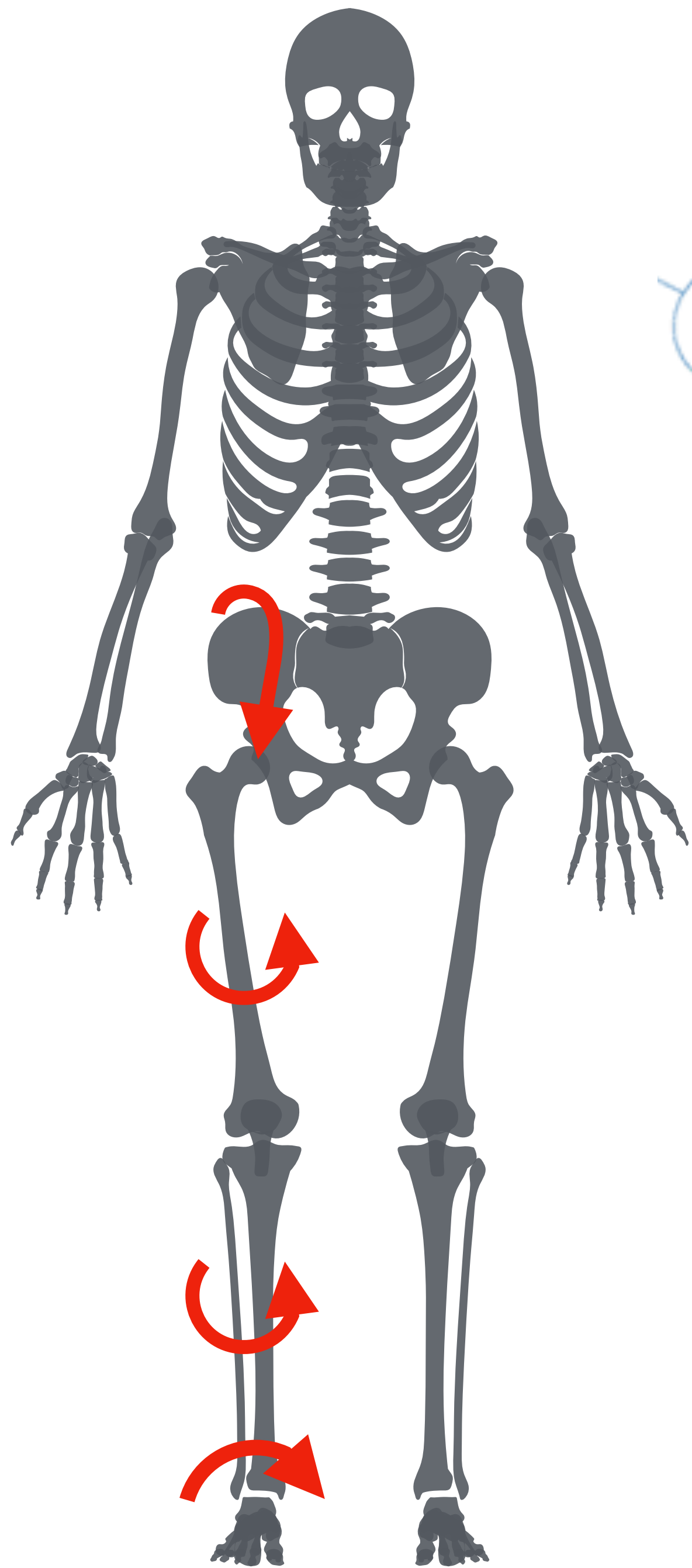
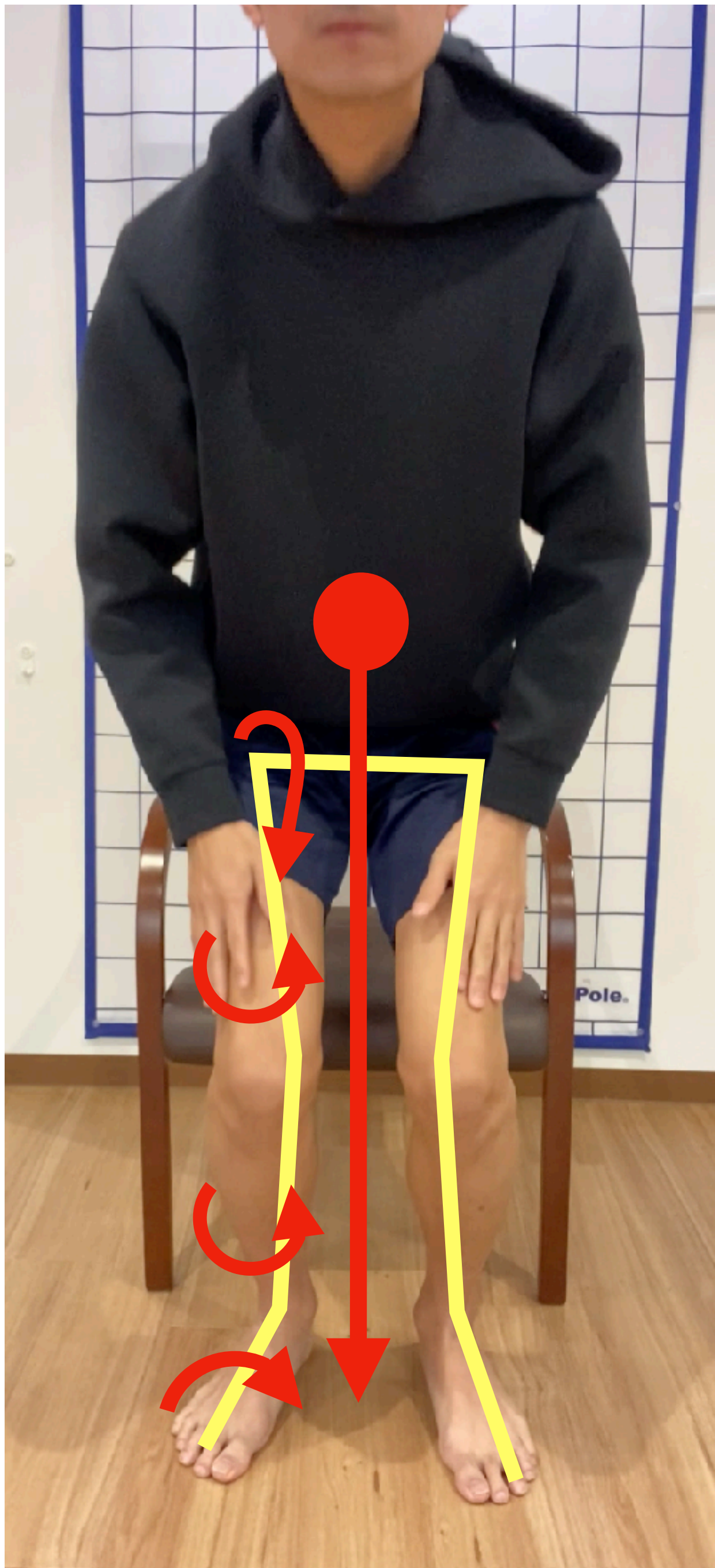


立ち上がり と 支持面



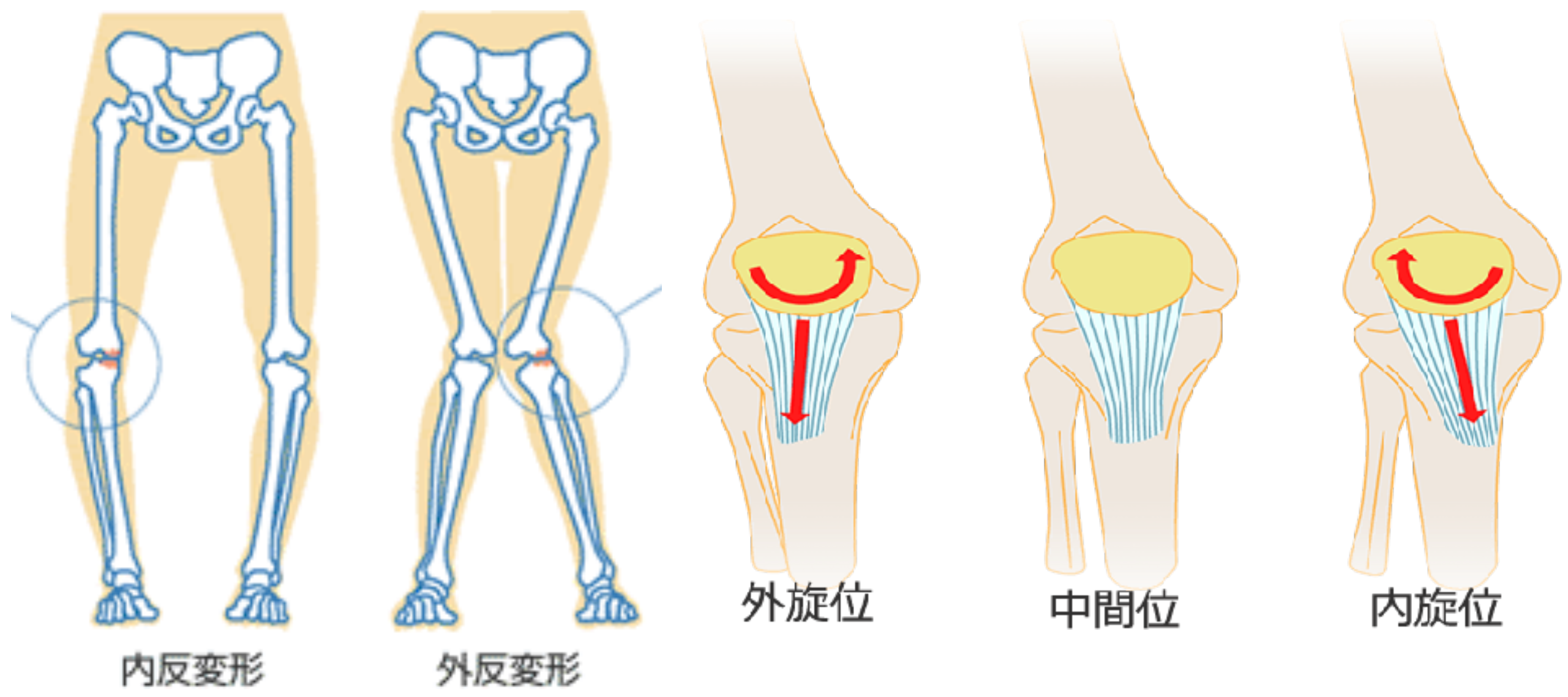
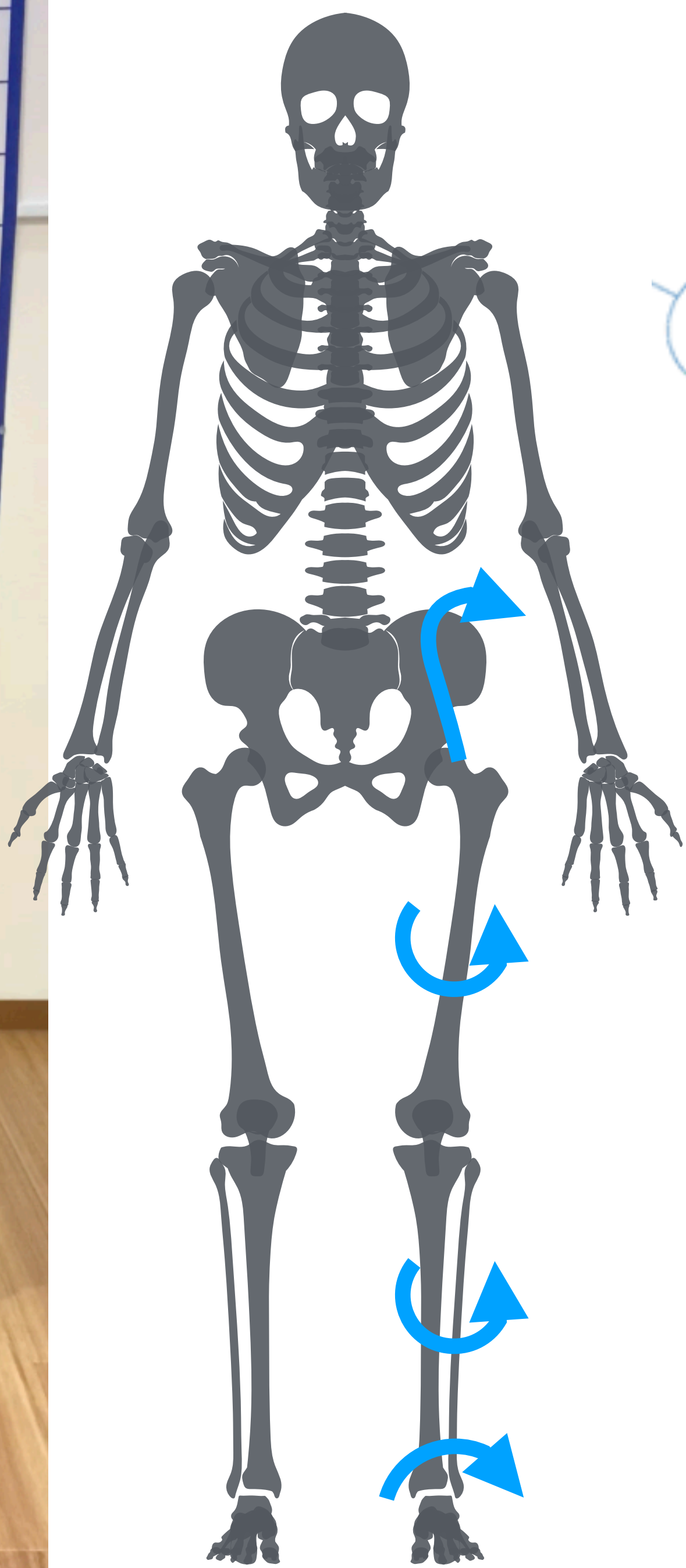






骨盤前傾

- 股關節 ： 屈曲 · 內轉 · 內旋
- 大腿 ： 後方 · 內側 · 內旋
- 膝關節 ： 伸展 · 外反 · 外旋
- 下腿 ： 後方 · 內側 · 內旋
- 距骨下關節： 回內



骨盤後傾

- 股關節** ：**伸展・外轉・外旋**
- 大腿** ：**前方・外側・外旋**
- 膝關節** ：**屈曲・内反・内旋**
- 下腿** ：**前方・外側・外旋**
- 距骨下關節**：**回外**

立ち上がり支持基底面作成のための アプローチの流れ

- ①足関節の底屈（運動麻痺筋・痙性筋のアプローチ）
- ②距骨下関節の回内（荷重）
- ③股関節内転・内旋運動（随意運動）
- ④制限を感じる人は股関節外転・外旋運動（随意運動）
- ⑤骨盤の前傾（随意運動）

**1時間でわかる
臨床でしか使えない！
脳卒中リハビリ**

脳外臨床大学

**VIP限定
セミナー**

20時～

**12/23
(thu)**

運動麻痺＋痙性の立ち上がり④

実践編：臀部離床獲得に向けて

- ① 臀部離床について
- ② NGな臀部離床

- ③ 筋緊張の評価
- ④ 実技